

令和4年度第1回 丹後地域医療構想調整会議 概要

- 1 京都府地域包括ケア構想等を資料2により説明
- 2 管内病院向け役割と今後についてのアンケート結果の報告
- 3 京都府立医科大学附属北部医療センター病院機能検討状況の報告
- 4 京丹後市公立病院経営強化プラン策定状況の報告
- 5 地域医療構想等への意見等
(連携)
 - ・丹後医療圏では関係者が助け合って医療を守ってきた経過があり、現状を維持することを前提に医療構想等の検討を進めていく必要がある。
 - ・病院間での機能分担がうまく機能するのか疑問に思う。人材確保も進んでいない。どういう努力の仕方が良いのか考える必要がある。
 - ・医師の確保では府立医科大学との連携を深めていき、丹後地域の各病院がどのような役割を担い医療を提供していくべきかを考えていきたい。
 - ・丹後医療圏の病院は各々離れた場所に位置しており連携にも限りがある。
(人材確保)
 - ・地域医療構想を進める上では医師の確保が不可欠であり、府は医師確保計画をしっかりと進めてほしい。
 - ・丹後地域は医療職全体が不足しており人材確保が必要な状況にある。現在の医療のレベルを下げることなく継続できるようにしていきたい。
 - ・医師の時間外労働規制などで今後医師派遣が難しくなる可能性もある。
 - ・地域医療を支える上で医師派遣は重要であり京都府としてもできるだけ努力をしていきたい。

(その他)

- ・周産期医療を守っていく必要があると考えている。新型コロナ対応の病床を今後どのようにしていくのか考えなければならない。
- ・小規模な病院としてできることとしてレスパイト入院を積極的に受け入れている。

6 外来機能報告制度、紹介受診重点医療機関について資料3により説明

7 医師の働き方改革について資料4により説明